

三極連携 西条市・新居浜市・四国中央市



参考：国土交通省四国地方整備局「新四国創造研究会意見書」

もに、積極的なまちづくり戦略を展開することにより、現下の経済危機を乗り越えることが肝要です。

こうした中、私は今日まで、地域資源を活かした内発型の産業振興を主軸とするまちづくり施策を一貫して推進してまいりました。「人・モノ・情報・カネ」を本市に引き寄せるとともに、雇用を創出し、地域全体の元気を支えるものは産業だからです。特に、本市の強みである「水・食・農」に関わる産業は、人が生きていく上で欠かせない「生命的成長が期待されることから、戦略的視点と「攻め」の姿勢をもって、「水と食」「食と農」をテーマとする産業振興施策を今後も揺るぐことなく精力的に展開してまいります。

一方、私たちがどのような危機に直面しようとも、市民の生命と健康を守ることは、私も行政の責務です。特に地域医療体制の立て直しは本市が全力を挙げて取り組むべき重要課題の一つです。そうした中、市立周桑病院の経営問題につきましては、昨年に検討組織を設置し、抜本的な経営改革をめざした検討を進めてまいりました。

新年度におきましてはその結果を踏まえ、市民の「安心」と「健康」を確保するため、地域の拠点病院としての存続をめざす方向で、具体的な経営改善に着手してまいります。

新居浜市・四国中央市との三極連携

現在の難局に立ち向かうためには様々な主体が「連携」することも必要ですし、地域住民間の連携、産学官の連携、そして都市間の連携、ここにきて、これが重要な一つの考え方として捉えられるべきであると考えます。合併以来、私は融和と一体感の醸成による市民間の連携と、企業や大学、研究機関との連携に取り組んできましたが「連携と交流」は極めて重要です。

この間、本市の地下水調査等を通じて連携・交流を深めています、日本を代表する研究機関「総合地球環境学研究所」の導きで、3月16日から22日までの間、トルコ共和国イスタンブールで開催される「第5回世界水フォーラム」で、本市の「うちぬき水文化」を事例発表する機会をいただくことができました。

このように「連携と交流」は都市間の限界や制約を解き放ち、ある場合には海外への飛躍を可能とします。また、都市間連携を通じてそれぞれの都市が互いの知恵と工夫を競い合い、その持てる総合力を活かし合うことは、元氣と活力のあふれる広域都市圏の形成、ひいては日本全体の元氣アップにもつながります。

そうした中、国土交通省が新たな国土計画である「国土形成計画」の